

タシロスゲ

Carex sociata

カヤツリグサ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 掲載なし



種子植物

日本では、四国と九州の一部に分布し、本県の生育地も大野川上流域のごく限られた範囲にみられ、個体数も少ない。低地の河岸や湿った林縁に生える多年草で草丈20～40cm。株をつくり群がって生え、茎の下部は繊維状に分解する。葉の幅は3～5mm。花穂は4～5月に出て、5～8個の小穂をつける。河川改修や道路工事で消滅した生育地が生じており、絶滅の危険性が高くなっている。

(写真：小代連枝 文：荒金正憲)

県内分布 大野川上流域

分布域 四国(高知),九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
台湾